

令和8年度学校図書館活用教育普及講座開催要項

1 目的 読書バリアフリーが必要とされている理由や背景等について理解し、さまざまなバリアフリー図書、身近な場所ですぐできるサポート等、具体的な取組事例を知ることとおし、自校の学校図書館を見つめ直し、実践につなげることができる。

2 主催 鳥取県立図書館

3 日時・開催場所

西部	令和8年7月23日（木）午前10時半から午後3時45分まで （受付10時開始） 米子市立図書館 多目的研修室（米子市中町8）
東部	令和8年7月24日（金）午前10時半から午後3時45分まで （受付10時開始） 鳥取県立図書館 大研修室（鳥取市尚徳町101）

4 開催方法 会場参集（※ただし、東部会場の講義部分のみオンラインで同時配信します。）
演習：会場参集のみ

5 内容 【講義1】学校の「読書バリアフリー」ははじめの一步
～誰もが読書を楽しめる学校図書館をめざして～

【講義2】「合理的配慮と基礎的環境整備」

【演習1】事例発表（西部会場）琴浦町立聖郷小学校 司書教諭 田中 広美 氏
琴浦町立東伯中学校 学校司書 馬野 美幸 氏
（東部会場）鳥取県立鳥取養護学校 司書教諭 奥田 暢子 氏
グループワーク 『読書バリアフリー』～自校のはじめの一步～

【演習2】鳥取県立図書館電子書籍体験

6 講師 野口 武悟 氏

【プロフィール】

青山学院大学教授。公益社団法人全国学校図書館協議会理事長。放送大学客員教授。筑波大学大学院博士課程修了、博士（図書館情報学）。図書館情報学を専門とし、読書バリアフリー、障害者サービス、子どもの読書活動、電子図書館などを研究している。文部科学省視覚障害者等の読書環境の整備の推進に係る関係者協議会委員、NPO ブックスタート理事、日本図書館情報学会理事などを務める。著書に『学校の「読書バリアフリー」はじめの一步～学校の10の事例～』（学事出版）他多数

7 対象 県内の各学校の管理職、学校図書館関係職員（司書教諭、学校司書、学校図書館担当職員）、特別支援教育関係職員、幼稚園・認定こども園・保育所の教職員等、公共図書館職員、市町村教育委員会指導主事等

8 定員 西部会場80名
東部会場80名、オンラインによる視聴100名

9 日程（2会場共通）

10:00	10:30	10:35		12:00	13:00	13:40		15:30	15:45
受付	開会	講義1	昼食	講義2	演習1 (事例発表)	演習1・2	質疑 応答	閉会	

10 申込方法

- ・右下の二次元コードを読み取り、とっとり電子申請サービスよりお申し込みください。
- ・オンライン参加者の方は、7月21日（火）までに電子メールにて視聴URL等を送付します。



11 申込締切 令和8年7月16日（木）

12 持ち物 タブレット、ノートパソコン、スマートフォンのいずれか
（電子書籍体験で使します）

13 その他

- （1）学校や市町村教育委員会、教育研究会の研修として本講座を利用されることも可能です。
- （2）申込の順に参加を受付けます。定員に達した場合には受付を締め切ります。
- （3）災害等の影響によって、開催方法が変更になる場合等は、県立図書館ホームページでお知らせします。
- （4）西部会場（米子市立図書館）に御参加の方は、米子市役所駐車場を御利用ください。
- （5）東部会場では会場で昼食を食べることができません。近隣の飲食店やとりぎん文化会館のロビーを御利用ください。

【担当】 鳥取県立図書館 支援協力課 指導主事
併小中学校課指導主事 河田かをり
〒680-0017 鳥取市尚徳町101
電 話 0857-26-8155
ファクシミリ 0857-22-2996
電子メール toshokan@pref.tottori.lg.jp